１－１　北海道東部の上下変動

国土地理院地殻活動調査室

北海道東部地方において，1970 年 10 月に斜里（J45）から標津，厚床を経由して，釧路（J7606）の水準測量を終了した。

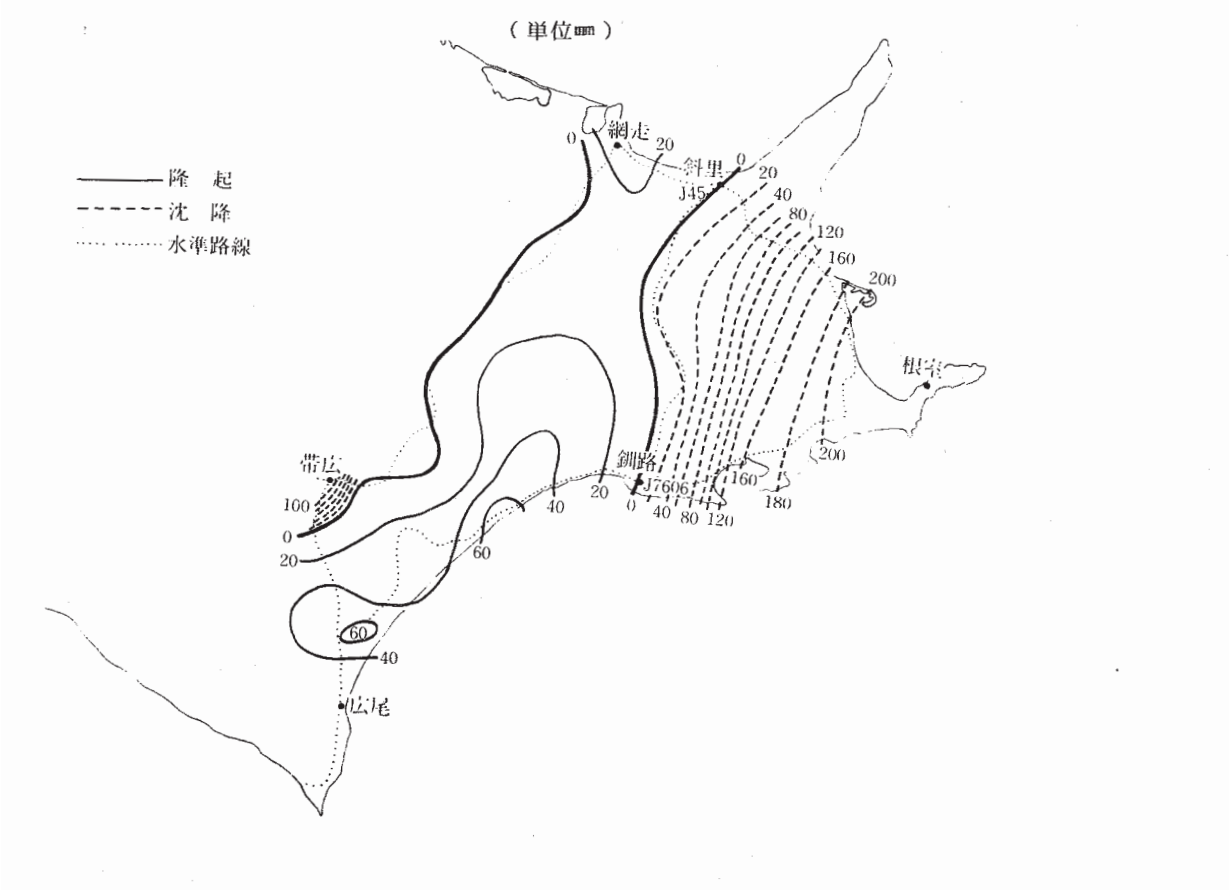
第 1 図に示す水準路線について，斜里（J45）を不動と仮定して，おのおの同じ条件で平均計算をして，1955 年と 1970 年の間の変動量を計算した。第 1 図はその変動量図である。

更に斜里－釧路以東の今回測量をした路線の変動プロファイルおよび代表的な点 A，B，C 3 点の経年変動図を第 2 図に示した。

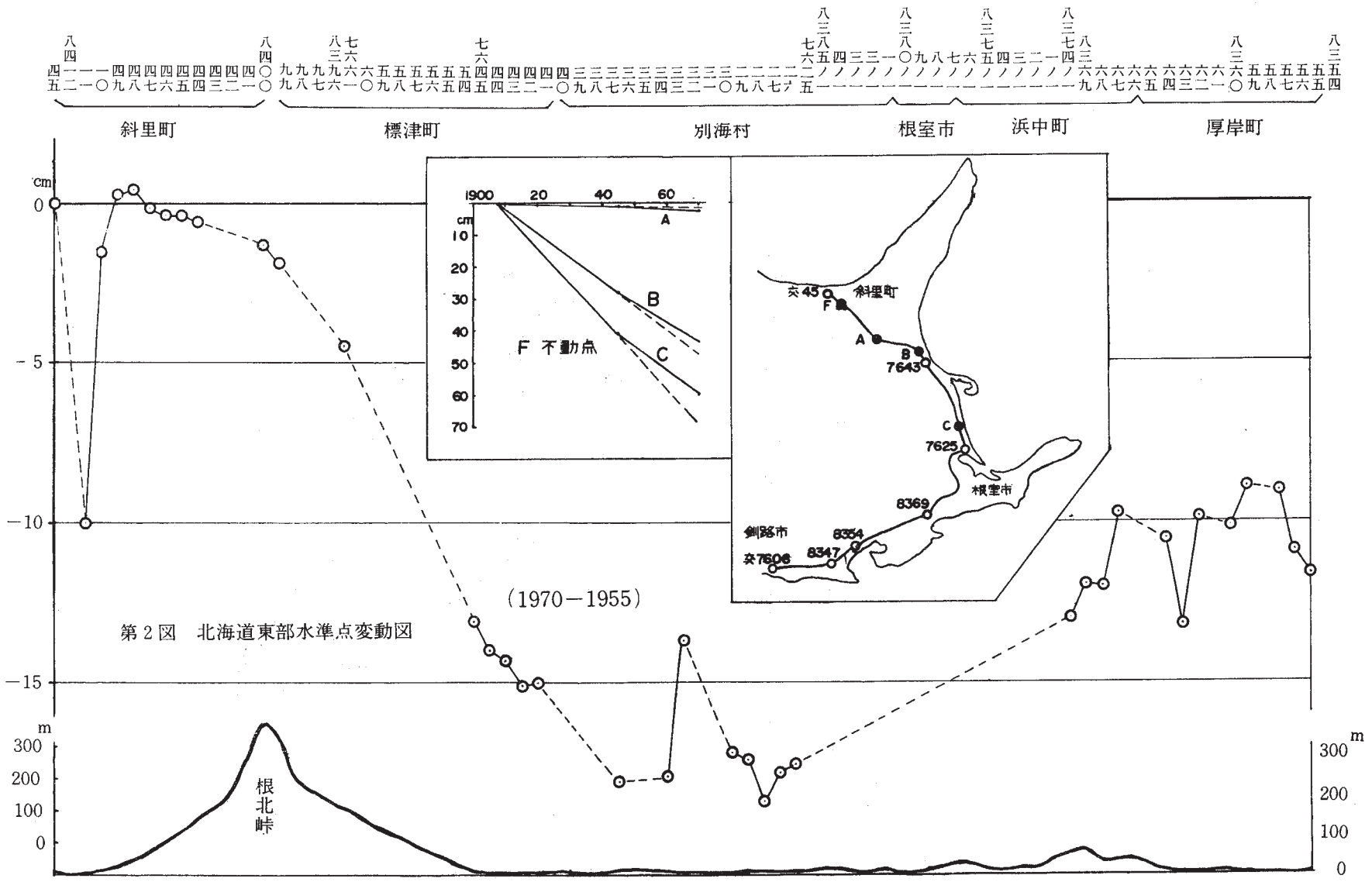
この第 1 図は地震予知連絡会会報第 3 巻 7 頁の図に斜理－釧路以東を追加したことになるが，平均計算を全域についてやり直したので，斜里－釧路以西地域については，前回に比べ若干コンターがずれている。しかし全体としては第 3 巻の図とほとんど変っていない。

斜里－釧路以東について目につくことは，東に向って沈下が大きくなっている傾向と，この沈下速度が明治以来ほゞ直線的に一定なことで，会報第 2 巻 2 頁の北海道東部の地震空白部分および第 2 巻 4 頁の水平変動図と対照してみると大規模な地殻の歪が蓄積を続けていると思われる。

第 1 図　北海道東部上下変動図（1970 －’55）



第２図　北海道東部水準点変動図



第２図　北海道東部水準点変動図